

## 平成29年度 あいさんハウス・ぎふ 事業報告

### 【平成29年度重点目標】

- ・組織機能強化  
報連相の徹底
- ・職員育成  
勉強会と研修の開催（外部研修の活用）
- ・地域との連携強化  
地元 鹿野地区との祭り共同開催

### 【施設全体実績】

- ・外部講師を招いた「チームワーク研修」の実施
- ・地元 鹿野一色自治会との共同による祭りの開催
- ・施設外周の利用者の散歩開始と清掃活動を実施

### 【各部門事業実績】

#### 共同生活援助（グループホーム）事業

1. 安全で信頼のおけるサービスに取り組む
  - ・事故防止、感染対策等に関する職員研修の実施
  - ・事故等が発生した場合を想定した研修の実施
2. 生活環境を整える
  - ・利用者に特性、拘りを考慮した環境整備の実施
3. 地域の身近な福祉拠点を目指す
  - ・市の祭り、イベントへの参加支援の実施
4. 定員25→30へ増床

#### 生活介護事業

1. 安全で信頼のおけるサービスに取り組む
  - ・申し送りや情報共有に関わるツールの見直し
  - ・個人情報・プライバシーに関する職員研修の実施
2. 一人ひとりの想いを大切にします
  - ・利用者個人に対する「活動シート」を用いた情報収集の実施
3. 定員30名→40名へと増員

## 就労継続支援B型事業

### 1. 日中活動

- ・利用者の特性に合わせた作業場の配置変更実施
- ・作業時間と担当をホワイトボードを使った視覚化の実施

### 2. 就労支援

- ・作業中のルール、マナーを利用者と共有

### 3. 平均工賃 6,000円達成

## 放課後等デイサービス

### 1. 個別活動の充実

- ・利用者の状態に最適な支援のあり方を協議・検討しながらより良い支援が行えるよう毎日のミニミーティングを開始

### 2. 領域別活動の充実

#### ・自立促進活動

生活に必要な身辺処理や社会適応力等を高めるため、個人ごとにできることを増やすトレーニング（食事・歯磨き・更衣・排泄・手洗い等）に重点を置くとともに、施設外活動等で人と交流し社会性を養うための体験支援の実施

#### ・家族との連携

通所型の特性を活かし、事業所と家族が連携して課題等へ対応がとれるように、日頃から連絡帳等で情報交換の実施

### 3. 土曜営業の開始

### 入居者の状況（あいさんハウス・きふ）

### ○市町村別入居数

市町村別	男性	女性	計	市町村別	男性	女性	計
八町	1		1	あま市	1		1
大垣市			0	愛西市	1	2	3
海津市	8	4	12	稻沢市		1	1
安城市	1		1	津島市	1	1	2
神戸町		1	1	弥富市	1	1	2
羽島市	2		2				
尾張町	1		1	桑名市	2		2
小計	13	5	18			6	5
				合計	19	10	29

### 2)年齢別入居状況

性別		20歳 未滿	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	合計	平均 年齢	最高 年齢	最低 年齢
区分	男	0	7	4	7	0	1	19	36.3	62	20
	女	0	3	2	3	2	0	10	38.1	53	24
計		0	10	6	10	2	1	29			

### ③在所期畠狀況

4) 滯留区分別状況

性別		学年		学年		学年		学年		合計
男	女	1	2	3	4	5	6	7	8	
0	0	0	1	1	1	8	5	4	19	
0	0	0	0	2	3	3	3	2	10	
0	0	1	3	11	8	6	6	29		

⑤平成29年度 年間入退居の状況

## ⑥入居者の食事形態の状況

(平成30年3月31日現在)